

令和6年(2024年)度 学校評価アンケート まとめ

点数換算：A=4点、B=3点、C=2点、D=1点 最高点：4 最低点：1 中間点：2.5

	中間目標	重点事項	評価の観点	教職員	生徒	外部
重 点 目 標	地域に開かれた教育活動の推進	地域性を生かした外部連携を軸とした魅力ある教育活動の充実による「選ばれる学校」づくりと効果的広報活動	学校評価（保護者・第三者・生徒）及び出願者数に結び付けられるか	3.09	－	3.50
	地域と連携した進路指導	連携型中高一貫教育を軸とした大雪の自然や地域の教育的資源（人的・物的）の活用	生徒が主体的に考えて行動し、地域と連携したキャリア教育の充実が図られたか。	2.91	－	2.88
	教職員の協働体制確立	心理的安全性を軸とした心身共に健康で働ける労働環境と協働性・組織性が機能する職場づくり	授業の準備や生徒と向き合う時間を確保できたか。	2.73	－	－
時間外勤務の前年比が改善されたか。			2.82	－	－	
学 習 指 導	生徒の基礎学力の定着	基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させる指導の充実。	習得した知識・技能の質や量が、各教科のシラバスに照らして十分だったか。	2.82	3.26	2.83
	生徒が主体的に学ぶ意欲の向上	「主体的・対話的で深い学び」「学びの個別最適化」を踏まえ、観点別評価による「指導と評価の一体化」を具現化する授業改善。	学習指導要領を踏まえた指導計画に基づく実践であり、授業評価や学校評価に結びついたか。（校内研修の実施）	2.91	2.86	2.83
	ICTの活用と学習評価の工夫	ICTを効果的に活用した学習活動の研究を進め、情報活用力・課題発見・課題解決力の育成を目指す。	教科・科目、総合的な探究の時間においてICTを効果的に活用できたか。	3.09	3.32	－
			ICT環境整備の予算確保ができたか。	2.73	－	－
	特色ある教育活動の工夫・改善	総合的な探究の時間（大雪基礎）を軸とした教育課程と地域の教育的資源（人的・物的）を活用した特色ある教育活動を地域と連携して実践。	地域的資源（人的・物的）を活用できたか。	3.45	3.36	3.50
			中高一貫教育の取組を推進できたか。	2.45	－	－
生 徒 指 導	他者理解と思いやりの心の育成	異年齢交流や地域の人々との交流により、自己と他者を思いやることのできる態度の育成を図る。教員と生徒相互の信頼に基づく教育相談の充実を図る。	自他を認め合い、よりよい人間関係の構築と生徒一人ひとりと「対話」を重視した教育相談が実施できたか。	3.09	3.32	3.25
	規範意識・公共精神の育成	挨拶・時間・マナーの意識醸成や情報モラルへの理解を深め、学校生活を安心・安全に送る態度を育む。	特別指導案件、遅刻、SNSトラブルなど未然防止が実施できたか。	2.82	3.34	2.71
	生徒の自主性・主体性の育成	学校生活のルール作りに生徒が主体的に参画することにより、自主自立の精神を育む。生徒会活動や部活動を通して生徒の主体性を育成する。	校則や制服の見直しに生徒自身が主体的な関わりができたか。	2.09	3.06	－
進 路 指 導	進路実現の系統的支援	三年間を見通した系統的な指導により、自己の進路目標について思慮し、学年に応じた進路意識付けを明確にする。	中学校と連携した系統的かつタイムリーな指導であったか。	2.09	3.10	2.86
	キャリア教育の推進	生徒及び保護者に対し、進路情報の発信を適切に進めて主体的な在り方生き方に繋がるガイダンス機能を一層充実させる。	生徒や保護者が必要とする進路情報を収集し、提供することができたか。	2.45	3.20	3.00
	資格取得の推進	生徒個々の進路目標を実現するための組織的サポート体制、相談体制を確立し、資格取得や講習を推進する。	分掌や学年の枠を超えて全校的なサポート体制であったか。	2.82	2.70	3.00
健 全 指 導	多様性の尊重と健康増進	生徒の心身の状況を的確に把握し、心の悩みの早期対応と教育相談の組織的支援体制を構築する。	生徒の状態把握が適切に行われ、SCや関係機関と連携した支援が行われたか。	3.00	2.86	3.20
	環境整備	校舎内外の環境美化・環境衛生意識の向上を養い公共心を高める。	心理的安全性を担保するため、清潔で安全な明るい環境整備を行い、生徒の意識啓発が行われたか。	2.73	3.12	3.14
	危機管理体制の点検・見直し	自然災害等に備える意識醸成及び教育活動における事故防止等の安全対策を徹底する。	教育活動における事故防止策が、危機管理マニュアルや熱中症防止マニュアルに基づいて行われたか。	3.09	3.12	3.29
探 究 活 動	課題解決力の育成	生徒の主体性の元で、「課題設定・調査・考察・分析・アウトプット」のサイクルに基づいた探究活動を推進する。	生徒の課題を解決するための思考力・判断力を養う探究活動が推進できたか。	2.91	3.10	3.13
	教科横断的な取組	各教科・科目における日常の授業や特別活動・行事においても探究力を養う取組を積極的に取り入れる。	様々な教育活動の中で探究力の育成を意識した取組が見られたか。	2.64	3.04	－
事 務 運 営	教職員の連携のもとに教育活動を支援する事務経営	計画的かつ効果的・効率的な事務処理及び予算執行に努める。団体会計が適切な執行となるよう生徒数減少を踏まえた予算計画を進める。	日常的な連携が適切に図られたか。	3.09	－	－
		日常的な点検と危険な箇所の把握。安全な学校施設設備の環境整備に努める。	修繕箇所への対応が迅速に行われたか。	3.00	－	－